

Osaka Metro まちさんぽ

千日前線 桜川駅

西道頓堀川の歴史を歩く

桜川駅
90分
コース

西道頓堀川の橋と周辺の歴史を訪ねて

道頓堀川の東側は歓楽街として早くから開発されたのですが、西側はかなり遅れて、元禄末期に堀江の開発がなされたときに、住吉橋、幸橋、汐見橋、日吉橋の4橋が架けられました。そこは大坂湾から木津川を経て入港する船の荷揚げ場になりました。道頓堀川に並行して桜川も流れていました。



スタート駅

千日前線
桜川駅
⑤号出口

1 西道頓堀川・道頓堀川・なにわ筋

2 堀江・立花通り

3 住吉橋

4 幸橋

5 赤手拭稲荷神社

6 あみだ池筋

7 汐見橋

8 道頓堀川水門・日吉橋

9 桜川

ゴール駅

千日前線
桜川駅

江戸時代に道頓堀川から分かれて並行して流れていた桜川が現在の地名に残り、駅名になりました。2本の川沿いには松や桜の樹木が立ち並んでいたと想像されます。田園風景の中に赤手拭稲荷神社が目立っています。桜川は大正3年(1914)に市電を通すために埋め立てられました。

西道頓堀川の橋と周辺の歴史を訪ねて

道頓堀川の東側は歓楽街として早くから開発されたのですが、西側はかなり遅れて、元禄末期に堀江の開発がなされたときに、住吉橋、幸橋、汐見橋、日吉橋の4橋が架けられました。そこは大坂湾から木津川を経て入港する船の荷揚げ場になりました。道頓堀川に並行して桜川も流れていました。

スタート駅



約 90分



ゴール駅

千日前線桜川駅⑤号出口

千日前線桜川駅

1 道頓堀川・西道頓堀橋・なにわ筋

船場の南側の水運を改善しようとして東横堀川と西横堀川の川尻を連結して木津川へ通す堀川の開削が始まり、元和元年(1615)に道頓堀川が開通しました。新川奉行が安井道頓です。道頓堀川の西側は土佐や播磨からの入港船の荷揚げ場になりました。なにわ筋は平成になって全線開通した大阪の新しい南北幹線道路です。市内の中心部は御堂筋をモデルにして幅40mあります。なにわ筋建設で新設されたのが西道頓堀橋です。現在は西道頓堀川という通称がよく使われますが、正式には西側も東側も道頓堀川です。

2 堀江・立花通り

元禄のころに堀江川が開削されて堀江に新地が生まれました。新地の賑わいをつくろうと相撲や文楽の興行、待合茶屋などが許可されて一帯が遊興街になりました。南堀江の立花通りは、江戸末期に橋通りと呼ばれた家具屋筋でした。現在はオレンジストリートという愛称で飲食、雑貨、インテリアなどのおしゃれな店舗が並んでいます。

3 住吉橋

堀江の開発に伴って架けられました。ここから南の方角に住吉大社のそばにある高燈籠がよく見えたので住吉橋といわれるようになりました。この一帯には広大な田園風景がひろがっていたのです。



4 幸橋

幸橋は幸町に架けられた橋です。湊町から幸町あたりは遊興地として開発がおよび、天保のころから明治4年(1871)まで遊所がありました。

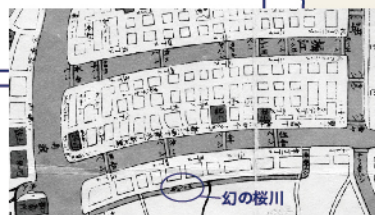
5 赤手拭稲荷神社

幸橋の筋を南に行ったところに赤手拭稲荷神社があります。小さな社殿の周りに紅い手拭や旗がなびいています。村人たちは紅染の手拭を祠前に供えて商売繁盛を祈りました。この神社は古典の落語「ぞろぞろ」に登場します。客の来ない茶店の主人が稲荷様に祈ったところ売れ残った草鞋わらじが売れました。次々に客が来て草鞋を買い求めると、新しい草鞋が出現するのです。ぞろぞろ客が来てぞろぞろ草鞋が現れて、それを知った床屋の主人が同じように稲荷様に願をかけると、という話です。



6 あみだ池筋

「あみだ池」と通称される堀江の和光寺のそばを通る南北道路で、なにわ筋と新なにわ筋が建設される以前は、市内西部を代表する幹線道路でした。



▲ 弘化2年(1845)大坂細見図より

7 汐見橋

江戸時代の汐見橋からは大坂湾の潮の干満が見えました。海が間近で汐の香りが漂っていました。現在の橋は、昭和39年(1964)に新なにわ筋に架けられました。



8 日吉橋・道頓堀川水門

江戸時代の日吉橋の周辺には木津川口から入港する船の船着場や廻船問屋、さらに木材問屋が立ち並んでいました。現在、西へ道頓堀川水門を間近に見ることができます。水門は平成13年(2001)に完成しました。東横堀川水門と一対で機能して堀川の水位の制御を行っています。船の航行のために開門を併設しています。

9 桜川

江戸時代には道頓堀川の南側に並行して、現在の千日前通に細い川が流れていました。住吉橋の東で道頓堀川から分流してそのまま木津川に合流しています。その川の名前が桜川で、現在でも地名に残り、駅名になりました。田畑の水利に使用されたようで川沿いに並ぶ桜並木が想像されます。大正3年(1914)に市電敷設のために埋め立てられました。

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2019年12月時点のものです。内容は変更されている場合がありますのでご了承ください。

駅スタンプ押印欄

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先) 大阪あそ歩 info@osaka-asobo.info

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室前に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。